

研究だより

No. 7
平成29年7月6日

第3回 授業研のようす(4年)

6月22日(木)に第3回の授業研がありました。西条市教育委員会の安藤先生をお招きして、総合的な学習の時間の授業を公開しました。

今年度の研究の柱である「本質」。総合的な学習の時間の「本質」を考えると、「テーマ設定」であるとの指導を受け、中崎先生には「テーマ設定」の授業を公開してもらいました。

今までの活動を振り返りながら、分かったことや疑問点を整理して、これから自分たちが目指していくゴールを決めていきました。

参観された安藤先生からも、「今までの活動のようすがよく見えて、素晴らしい授業だった。」とのお言葉をいただきました。

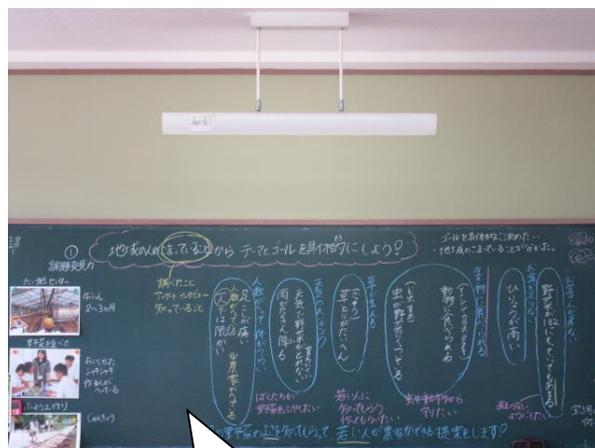
全70時間という限られた授業時間の中ですが、テーマ設定とゴールイメージをしっかりと検討していくことが意味のある総合的な学習につながると思います。

中崎先生、貴重な授業提案をありがとうございました。

授業のようす



今までの取り組みを通して分かったことを出し合って、テーマを設定しました！



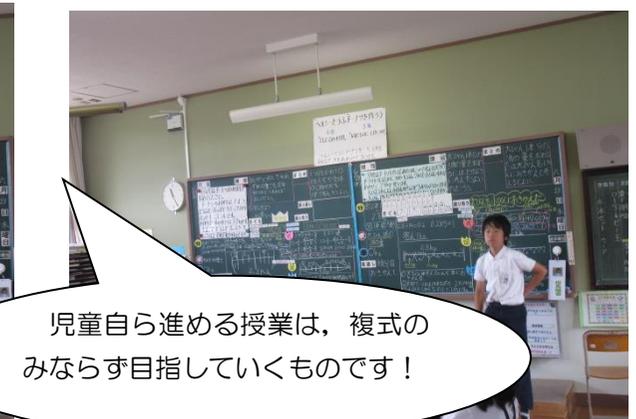
今までの活動が充実していたからこそ、テーマを設定することができました！

第4回 授業研のようす(5. 6年)

6月28日(水)に第4回授業研がありました。上智大学の奈須正裕教授をお招きして、算数科の授業を公開しました。

実際に行う活動で単元課題を作成するだけでなく、単元全体を通して「本質」にこだわった授業に取り組みました。当日は、複式学級のよさを最大限発揮して、児童主体の対話的で深い学び合いが見られる授業でした。また、算数科の本質に迫る問いや考えもたくさん見られる授業でした。

村上先生、貴重な授業提案をありがとうございました。



児童自ら進める授業は、複式のみならず目指していくものです！



圧倒的な板書量にいつも驚かされます。日々の授業で、子供達に本質が身に付いている証拠です！！

奈須先生からの指導講話のまとめ

- 教材研究の際は、「この単元は何のために学ぶのか。」を常に意識する。(他社の教科書と見比べたり、系統表に目を通したりする。)
- 絵の提示は量が保持されているものがよい。
- 「数が多い=難しい」→「数が多い→簡単」と言える子供が育つ授業を行う。
- 単元を通して理解させることは1つ(本質)でよい。本質を捉えさせたら、それを継続して指導していくことが最も大切である。

奈須先生のお話を聴くことで、本校の研究の方向性が正しいことを再認識することができました。これからも「本質」にこだわった授業づくりに取り組んでいきましょう！！